



セイウンコウセイ号 高松宮記念制覇

3月26日に『第47回高松宮記念』(G I・芝1200m)が中京競馬場で行われ、桜井牧場(静内川合)の生産馬セイウンコウセイ号が見事優勝を果たしました。

セイウンコウセイ号は、直線で馬場の真ん中を抜け出し、1.1/4馬身差をつけて重賞初勝利をG Iの舞台で飾り、新ひだか町産駒としても今年初のG I勝利となりました。



新ひだか推奨品 8商品を新たに追加

3月21日に新ひだか推奨品認証委員会(原昭子委員長)による認証書交付式が町観光情報センターぽっぼで行われました。

「2017新ひだか推奨品」として新たに3事業者8商品が認証されたほか、認証期間満了となった「2014新ひだか推奨品」の34商品が登録更新され、推奨品は24事業者54商品となりました。

日高中部青年会議所と協定調印 「災害時における支援活動に関する協定」

3月30日に町と日高中部青年会議所(古川昌広理事長)は『災害時における支援活動に関する協定』を締結しました。

この協定は、災害が発生、または発生する恐れのある場合、町の支援要請に基づき、状況に応じて支援物資の調達や配給活動、専門的な知識や技能を活用した総合的な救援活動を行います。

古川理事長は「防災ネットワークの拡充を推進することが大切、率先して地域防災に取り組んでいきたい」と述べました。



コープさっぽろ ランドセルカバー寄贈

3月21日に生活協同組合コープさっぽろ(大見英明理事長)が役場静内庁舎を訪れ、交通安全ランドセルカバー200枚を寄贈しました。

この寄附は平成23年度から毎年行われ、今回で7回目、寄贈枚数は1590枚に上ります。



幌村建設 海岸清掃ボランティア活動

4月1日に幌村建設(幌村司社長)は、『春の清掃ボランティア活動』として、町の環境サポーター・美化ネット推進事業と連動し、布辻川河口両岸と浦和海岸の2か所で清掃を行いました。

幌村社長を先頭に31名の社員らが5班に分かれ、ペットボトルや空き缶、紙くずなどの大量のごみに驚きながらも、一つひとつごみを拾い集め、合計で680キロものごみを収集しました。

新入学児童181名に交通安全啓発指導

4月6日から7日にかけて町交通安全推進協議会(会長・酒井芳秀町長)は、町と警察署、交通安全関係団体とともに、町内小学校の入学式に併せて『新入学児童交通安全啓発指導』を実施しました。

各小学校前で新入学児童に交通安全の啓発グッズを配付し、お祝いの言葉とともに事故防止を呼びかけました。

今年度は町内6校で計181名の児童が入学し、緊張した表情で真新しいランドセルを背負い、登校しました。



米国レキシントン市 友好親善訪問団派遣

3月24日から4月3日までの11日間、姉妹都市のレキシントン市を今年度の友好親善訪問団(尾山和也団長ほか13名)が訪れました。学校訪問や競馬場などの施設見学、市長への表敬訪問のほか、ホームステイなどを通して異国文化を学び、交流を深め、4月7日に充実した表情で本庄副町長へ帰町報告を行いました。



レーヌミノル号 桜花賞制覇

4月9日に『第77回桜花賞』(G I・芝1600m)が阪神競馬場で行われ、フジワラファーム(静内御園)の生産馬レーヌミノル号が見事優勝を果たしました。

レーヌミノル号は、好位をキープしたまま、直線で先頭に立ち、1/2馬身差でG I初勝利を飾り、桜の女王に輝きました。



ライオンズクラブ 奨学資金、図書購入資金寄附

3月22日に静内ライオンズクラブ(原順一会長)が役場静内庁舎を訪れ、奨学資金、図書購入資金としてそれぞれ10万円を寄附しました。

奨学資金は昭和42年、図書購入資金は昭和45年から続けており、寄附額は累計でそれぞれ510万円となりました。

原会長は「子どもたちが豊かな教育を受けられるように使っていただきたい」と述べました。